

住職のひとりごと

3月の『彼岸会』は密を避けて行います。4月2日(土)の『花まつり』は、法要と法話。法要の中で「新型コロナウイルス」の終焉を皆で祈りましょう。「法話」は今年も大型スクリーンを使っての「紙芝居」を予定しています。甘茶の接待と、「御首題帳、桜バージョン」は受けつけます。「花見」がたらどうぞお出かけください。

《お知らせ》護持会費の封筒を同封してあります。墓地契約者は一〇口(2千円/年)、その他の方は二〜三口以上でお願いします。可能な方は現在の口数を増やしてください。また護持会費の使途および残金等につきましましては同封の『護持会報告』をごらんください。

《お知らせとお願ひ》「一食一円アシスト募金」ですが、延べ94名の方から何と20万1千3百4円が寄せられました。昨年が13万円でいままでの記録でしたが大幅に更新したことを

春のお経廻りの予定

- 3月1日 稲子・長貫・羽鮒・大久保
  - 2日 精進川・下条
  - 3日~4日 下条・青木・馬見塚・
  - 5日(土) 万野原新田・大岩・小泉
  - 6日(日) 富士
  - 7日 青木・馬見塚・外神・穂波町・淀師・淀川町・中島町
  - 8日 大中里・貴船町・泉町・野中星山・源道寺・田中町・宮原・富士見ヶ丘
  - 9日 大宮町・宮町・西町・豊町
  - 10日 北山・上井出・山宮・栗倉・舟久保町・村山
  - 11日 三島・富士・柚野
  - 12日(土) 希望者、柚野
  - 13日(日) 清水・静岡・由井・内房・大久保・柚野・希望者
  - 15日~ 柚野
- \*当方の都合で日付変更もあります。  
\*変更を希望する方、ご連絡ください。

になりす。実は一人の檀家さんが3回に亘りあの貯金箱に1万円札で計7枚を寄附してくれました。「世界には食べられない子どもがいることを知って本当に可哀そうで・・・」と。1月14日「社会教化事業協会」に送金しました。ありがとうございます。さてここからお願ひです。御存じの方もおられるかと思いますが、郵便局からの送金に硬化1枚につき1、1円の手数料が発生する事になりました。

ワセを一食ごとに1円だけ回してあげましょう。という善意の主旨もこの制度の前に崩れ去った、とも思えます。今後「社会教化事業協会」より新たな方針が出されるかと思いますが、興徳寺檀家さんにおかれましては、とりあえず硬貨については50円以上のみ受け付けるということでご了承ください。今まで通り1円を貯めることは構いませんが提出する時は50円以上コインにそれぞれが換金してください。「一円硬貨は受け付けられません」としても心苦しいことではあります。どうぞご理解の上、引き続きのご協力をお願いいたします。

今年(寅)は、私・泰然は年男です。そして母も年女、96歳になります。認知症歴も14年目に入りましたが、いつも明るくおだやかで本当にありがたいことです。

《タイゼン・ケイタイ ; 090-2180-8591》

今回のイラスト、このページと2ページ、どちらも富士市の西川千恵子さんです。【泰然記】



**興徳寺便り**

第135号  
(復刊第60号)  
令和4春彼岸

蛇口は胸の中にある

水ぬるむ 高階 杞一

春が来て凍っていた顔もとけてきたチューリップのように並んだ笑顔世界にはまだまだいっぱい素晴らしいことがある

それは 教えてくれているようだよ

よかったね 生きていて

まだ風は冷たいけれど 春の服を着て 出かけてみよう

蛇口は胸の中にある ひねれば きっと昨日とは違う水が出る

詩集「空へ質問」より

高階 杞一(たかしな きいち) 昭和26年大阪に生まれる。詩人。大阪府立大学農学部園芸農学科卒業。大学在学中より詩作を始める。2013年、詩集『いつか別れの日のために』にて第8回三好達治賞受賞。これまでに出版した詩集は20冊以上。神戸市在住



新型コロナウイルスの終焉がまだに見えず、抑制された生活も3年目。ですが春はもうそこ、変化の時が来ています。

日蓮聖人のご遺文、兵衛志殿御返事(ひょうえさかんどのごへんじ)の一節です。

『しを(潮)のひるとみつと月の出といると、夏と秋と、冬と春とのさかひには必相違する事あり。凡夫の仏になる又かくのごとし。必三障四魔と申障いできたれば、賢者はよろこび、愚者は退、これなり。』

これを現在に読み解くと、コロナ禍は世の中の価値観が大きく変化していくために必要な通過点、という見方もできます。私たち一人ひとりの魂がよりレベルアップし真の幸福をつかむ(「仏になる」)ためには、当然さまざまな困難や苦労がつきまとうことでしょう。ですがその苦労をしっかりと受け止めることができるか、諦めてしまうかが大いなる分かれ目です。

「春になったらきつといいとある！」と自分に言い聞かせ、心の蛇口を開いて一歩踏み出してみましよう。きっと昨日とは違う水が出るはずですよ。



令和4年の「初日の出」です



1月2日『元旦会』、無事の越年を感謝し、新しき年の多幸と新型コロナウイルスの終焉を皆で祈りました。副住職の法話の後は、甘酒とお汁粉。うらうらと温かくおだやかなお正月でした。

ありがとうございました

お檀家さんの富士宮市村山、田口建材(株)様(代表田口敏寛さん)より墓地の前のフェンスと上の階段を寄贈していただきました。



階段の上は駐車スペース。本堂裏より乗用車で来れます。2~3台の駐車可。



春から夏までの予定

3月20日(日曜日) **彼岸会** 10:00~ 法要。10:40~法話  
お彼岸の法要です。ご家族・お友達 お誘いあわせてどうぞ。  
法要の中でご先祖様の回向をさせていただきます。(お塔婆は2千円です)。

3月24日(水曜日) **七面山登詣** 4:00 興徳寺を出発、戻るのは17時頃  
まだ 雪の残る七面山への 日帰り登詣です。初めての方も お問い合わせください。

4月2日(土曜日) **花祭り** 13:00~ 法要と法話。  
第15回目の「花まつり」です。お釈迦様の誕生を祝い、仏さまのご縁に感謝する日。  
昨年と同じように、法要と法話スペシャルのみ。甘茶のご接待をいたします。  
花見を兼ねて 密にならないよう注意してお楽しみください。(例年日曜日ですが今回土曜日です)

**興徳寺をきれいにする日** 6月19日 と 7月24日 の2回  
朝7:00~10:00頃まで 草刈・草むしり・お掃除など、できるご奉仕を。男女年齢問わず。

**写経・唱題行** 毎月 第4日曜日 15時より「写経」16時より「唱題行」  
3月27日・4月24日・5月22日・6月26日・7月24日  
静かな雰囲気の中でお経を写し、お題目を唱えます。深い呼吸と精神統一によって、

福は内へ 鬼もうちへ...



今年の『寒行』も柚野・精進川地区のお坊さんたちだけで行いました。総勢7名の僧侶のお題目はさすがに力強く、平成17年にスタートした時の原点のような形で寒空に団扇太鼓を響かせました。  
ところで「寒行」の最終日は節分ですが、お寺の豆まきで「鬼は外」を言わないことは御存じですか？  
私たちの祈り「南無妙法蓮華経」は仏さまから人間、そして地獄の世界まですべてを包み込んで調和しています。そして私達の心にもおなじように仏さまと鬼が同居しています。鬼とは、欲・怒り・妬み等々... 元から存在しているもので追い出す事はできません。  
鬼が暴れないようにしっかりと仏の心(南無妙法蓮華経)で包み込むこと、それが「修行」なのです。